

明日へつながる、より確かな医療連携をめざして。

済生会熊本病院 連携広報紙

# SAIKURU

サイクル

CONTENTS

トピックス

7月外来医師一覧表

休診のお知らせ

インフォメーション

地域の医療機関の紹介

SAIKURUとは

地域及び連携医療機関とのつながり(サークル、サイクル)を大事に、患者さんを中心とした医療を提供していきたいという意味を込めています。

ヨーロッパ品質管理協会より

## 「ベストプラクティス2018」

を受賞いたしました

2018年5月12日、欧州ベストプラクティス賞(European Award for Best Practice)2018を授賞いたしました。ベルギーの首都ブリュッセルにて行われた授賞式に院長の中尾浩一が出席して参りましたので、ご報告申し上げます。

同賞は、Quality CultureならびにQuality Improvementを促進することを目的としたものです。スイスのローザンヌに本部を置くヨーロッパ品質管理協会(ESQR:European Society for Quality Research)が主催し、独自に世界中の企業、組織を調査することにより、様々な分野における顕著な質改善運動の功績が認められた団体を表彰するものです。過去の日本からの受賞団体は、全日空、三井造船、大日本印刷(DNP)などで、2016年には聖路加国際病院が受賞しています。



今回は、世界52カ国から61団体が選ばれ、表彰されました。日本からは、当院とサントリー・ペパレッジが選出されています。

当院はクリニカルパス(1996年～)の導入や、国際的な医療機能評価「JCI」の認証(2013年～)等、医療改善の取り組みが評価され、受賞に至りました。今後も医療の安全と品質向上に努めてまいります。地域の医療関係者の皆様方におかれましては、今後ともご高配を賜りますよう、お願い申し上げます。

### 院長 中尾浩一の受賞スピーチ(和訳)

本日、このような場に立てることを私はとても嬉しく、そして光栄に思います。我々の組織は、明治天皇が医療による生活困窮者救済のために1911年に設立した社会福祉法人であり、我々の病院は日本の南端で地域の急性期医療を担っている施設です。必ずしも小さなクリニックではありませんが、このような地方の一施設に荣誉ある賞を賜り、嬉しさと同時に驚きを禁じ得ません。では、病院という組織の、質向上への希求とはいかなるものなのでしょうか。

1996年、クリニカルパスの導入から、我々の取り組みは始まりました。「患者中心の医療」と「チーム医療」、その2つの目標・理想を我々はクリニカルパスという方法論によって実現してきました。さらにチーム医療の考えを拡大し、地域を1つのチームとして捉え、院外の、機能を別にする病院との連携も深めてきました。今やクリニカルパスの道は、我々の病院だけでなく、連携先の施設まで包含したものとなっています。2013年にはJCIの審査も受けました。JCIは「医療の質と患者の安全に関する継続的な改善」に関する国際的な第三者評価認証機関であり、患者中心の医療とガバナンスの視点から査定されます。JCIは、質の高い医療を安全な環境で提供するためのノウハウを我々にもたらしました。2017年2月の更新時には、不適格0のハイスコアで審査をパスし、質に対する病院の意識は今や過去に類を見ない高さまで向上しています。さらに現在はシンガポールの病院との交流を深め、更なる質向上のためのノウハウを蓄積している最中です。

このような私たちの活動が本会に認められたことは大変嬉しいことであり、職員を代表して御礼を申し上げます。ただし、これまでの我々の医療は、我々自身の犠牲を前提とした日本的医療でした。これからの日本社会は少子高齢化、財源不足という問題に直面しています。この犠牲と質との兼ね合いに、いかに立ち向かっていくべきでしょうか。質の先に向かうのは、「価値の医療」です。今後は様々な医療のコストを視野に入れて、価値の高い医療の構築を試みていきたいと思っております。どうもありがとうございます。心より御礼を申し上げます。



## 開催報告

2018年6月13日(水)「山鹿市難病友の会きずなの会総会」にて  
心臓血管外科部長の上杉医師が講演を行いました。(後援:鹿本医師会・山鹿保健所)

“動悸や息切れ”などの不調に潜む病気のお話や、最新の外科治療映像など、来場された皆様は興味深そうに聴講されておりました。また、講演会後には活発な質疑応答(御自身やご家族・知人の体調に関することなど)が行われました。

### 山鹿市難病友の会きずなの会について

当会は、鹿本郡市の特定疾患医療受給者及び家族の相互の交流と親睦を図るため、大代純市会長により、平成15年11月28日設立された患者会です。



心臓血管センターの特設サイトを開設いたしました  
済生会熊本病院心臓血管センターは、開設して40有余年  
開設当初より循環器内科と心臓血管外科が協働して治療  
体制を築いて参りました。また昨今では、高度で複雑な医  
療を提供するために必要不可欠な多職種による「ハート  
チーム」を形成し、治療に当たっています。

URL:<http://sk-kumamoto.jp/cvc/>

済生会熊本病院 心臓血管センター

検索

